

風水害から身を守る！

北海道内では、6月から10月にかけて豪雨や台風等の影響により、川の水位が高くなりやすい期間を向かえます。

この期間を出水期と呼び、河川の増水に注意が必要となります。

被害を最小限に抑えるため、気象情報や役場からのお知らせなど有効に活用し、早めの対策・避難を行いましょう。

平成26年8月の大雨被害（朱鞠内コミュニティ公園管理棟）

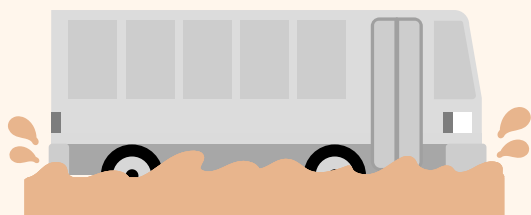
令和6年の大雨被害

8月9日はオホーツク海に低気圧があり、北海道付近は気圧の谷の中となっていました。

低気圧や気圧の谷に向かって暖かく湿った空気が流入し、また、上空を寒気が通過したため、大気の状態が不安定となり、留萌中部・南部、上川北部・中部を中心に大雨となりました。

アメダスの積算降水量では、8月9日の0時から24時の間では、朱鞠内地点で101.5(mm)の総降水量を記録しました。

交通関係では、道路冠水や土砂の流出等によって、国道や道道の通行止めやJR北海道バスの運休が発生をしました。



風水害から身を守る

北海道内では、6月から10月にかけて豪雨や台風等の影響により、川の水位が高くなりやすい期間を迎えます。この期間を出水期と呼び、河川の増水に注意が必要となります。

被害を最小限に抑えるため、日頃から気象情報やハザードマップ、洪水タイムラインなどを確認し、早めの対策・避難を行いましょう。



幌加内町
いざっ!という時の
防災ガイドブック
洪水ハザードマップ
HOKOKANAI Town
Disaster Prevention Guidebook
保存版
05066

【幌加内町版】洪水タイムライン（雨竜川版）

雨竜川流域雨量250mm/3日間（100年に1回規模）の場合の避難行動目安です。自分たちの住んでいる地域・地形的な危険性、災害における被害の想定や、どのような状況において避難するかなどを自ら検討し、被害を最小限に食い止めます。

警戒レベル	河川の水位	幌加内町からの避難状況	住民の行動
5 累加雨量 100mm/6h	氾濫発生	緊急安全確保 出立ちに安全確保を!	避難情報が解除されるまで避難を継続
4 累加雨量 90mm/6h	堤防決壊到達 幌加内観測所：158.19m 涌牛内観測所：218.30m	警戒レベル4までに必ず避難	最終的な危険回避行動（命を守る行動） 【災害発生後】
3 累加雨量 70mm/6h	避難危険水位 幌加内観測所：156.90m 涌牛内観測所：218.12m	避難指示 安全な場所へ全員避難しましょう。	避難完了
2	避難判断水位 幌加内観測所：156.80m 涌牛内観測所：217.85m	高齢者等避難 安全な場所へ全員避難しましょう。	避難開始 【0時間～3時間前に発生】
1	避難注意水位 幌加内観測所：156.40m 涌牛内観測所：217.48m	災害対策本部 ★災害応急対策本部発令 ★指定避難所の開設等の指示 災害対策推進協議会 ★警戒レベル発令 ★警戒区域、浸水	要配慮者避難開始 【3時間～4時間前に発生】

洪水情報が、緊急速報メールで発信されます。

国が管理する石狩川水系で川が氾濫する危険性が高まった時、緊急速報メールが自動で発信されます。

メールを着信した場合、雨の降り方や川の水位を「国土交通省 川の防災情報」で確認しましょう。

※注意：このメール配信は、携帯電話事業者（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー（au）、ソフトバンク、楽天モバイル）が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して、国土交通省が実施するものです。

【国土交通省 川の防災情報】

<https://www.river.go.jp>

